

一般演題 O10 腫瘍微小環境 1

6月30日(金) 9:00~9:40

第2会場

座長：八木田秀雄（順天堂大学医学部免疫学講座）

- O10-1 Tumor growth limited to subcutaneous site vs pulmonary site exhibit differential effects on systemic immunities
○増田 潤子、佐藤あやの、水谷 昭文、重廣 司、妹尾 昌治
岡山大学大学院 自然科学研究科
- O10-2◆ Chemotherapy-induced IL-34 promotes survival of chemoresistant cancer cells via autocrine mechanism
○Wira Eka Putra、Muhammad Baghdadi、和田はるか、清野研一郎
北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物学分野
- O10-3◆ 大腸がんにおける免疫細胞の形質・機能の解析と免疫抑制機構の解明
○大竹 淳矢¹⁾、里吉 哲太²⁾、和田 聡¹⁾、矢田英理香¹⁾、三神 裕美¹⁾、吉田慎太郎¹⁾、塩澤 学²⁾、笹田 哲朗¹⁾
¹⁾神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん免疫療法研究開発学部、²⁾神奈川県立がんセンター 大腸外科
- O10-4◆ 胃癌組織浸潤活性化 Treg と H.pylori 感染との関連性
○浦川 真哉¹⁾、加藤 亮¹⁾、西田健太郎¹⁾、森 正樹¹⁾、土岐祐一郎¹⁾、和田 尚^{1,2)}
¹⁾大阪大学大学院 外科学講座・消化器外科学、²⁾大阪大学 臨床腫瘍免疫学
- O10-5 膵癌局所環境に出現する異所性リンパ組織の臨床病理学的意義に関する検討
○桑原 尚太、土川 貴裕、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、倉島 庸、海老原裕磨、村上 壮一、中村 透、岡村 圭祐、七戸 俊明、平野 聡
北海道大学大学院医学院医学研究院 消化器外科学教室II

一般演題 011 腫瘍微小環境 2

6月30日(金) 9:40~10:12

第2会場

座長：松下 博和（東京大学大学院医学系研究科 免疫細胞治療学講座）

- 011-1 B-cell subsets possess different roles in colorectal cancer immune-microenvironment
 ○Budiman Kharm¹⁾、Boryana Popivanova¹⁾、FUJITA Tomonobu¹⁾、HAYASHI Yuichiro²⁾、MIKAMI Shuji²⁾、SUZUKI Nobuoki³⁾、NAGANO Hiroaki³⁾、HAZAMA Shoichi⁴⁾、OKUNO Kiyotaka⁵⁾、MATOBA Ryo⁶⁾、TAKEMASA Ichiro⁷⁾、TAKAHASHI Shin⁸⁾、OUCHI Kota⁸⁾、ISHIOKA Chikashi⁸⁾、KAWAKAMI Yutaka¹⁾
¹⁾Div. Cellular Signaling, IAMR, Keio Univ. Sch. Med., ²⁾Div. Diag. Pathology, Keio Univ. Sch. Med.,
³⁾Dept. Gastroenterological, Breast & Endocrine Surg., Yamaguchi Univ.,
⁴⁾Dept. Translational Res. Dev. Ther. Cancer, Yamaguchi Univ., Sch. Med.,
⁵⁾Dept. Surgery, Kindai Univ., Fac. Med., ⁶⁾DNA Chip Research Inc.,
⁷⁾Dept. Surgery, Surgical Oncology and Science, Sapporo Medical Univ.,
⁸⁾Dept. Clin. Oncol., IDAC, Tohoku Univ.
- 011-2◆ Prognostic significance of IL-34 and M-CSF co-expression in lung cancers
 ○遠藤 拓^{1,2)}、Muhammad Baghdadi¹⁾、石川 浩三¹⁾、和田はるか¹⁾、清野研一郎¹⁾、鈴木 直²⁾、宮城 洋平³⁾、横瀬 智之⁴⁾、高野 淳^{5,6)}、醍醐弥太郎^{5,6)}
¹⁾北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野、²⁾聖マリアンナ医科大学 産婦人科学教室、
³⁾神奈川県立がんセンター 臨床研究所、⁴⁾神奈川県立がんセンター 病理診断科、
⁵⁾滋賀医科大学医学部 臨床腫瘍学講座、⁶⁾東京大学医科学研究所附属病院 抗体・ワクチンセンター
- 011-3 Immunological features of tumor initiating cells
 ○和田はるか、Muhammad Baghdadi、清野研一郎
 北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野
- 011-4 NK cells control tumor-promoting function of neutrophils
 ○早川 芳弘¹⁾、小倉 圭介¹⁾、田原 秀晃²⁾
¹⁾富山大学和漢研 病態生化学、²⁾東京大学医科研 臓器細胞工学

一般演題 012 免疫モニタリング 2

6月30日(金) 10:12~10:52

第2会場

座長：赤塚 美樹（藤田保健衛生大学医学部医学科 血液内科）

- 012-1 進行肝細胞がん患者に対する Glypican-3 (GPC3) ペプチドワクチン療法の免疫学的効果
 ○土屋 伸広^{1,2)}、吉川 聡明¹⁾、藤浪 紀洋¹⁾、齊藤 桂吾¹⁾、下村真菜美¹⁾、鈴木 利宙¹⁾、野坂 和外¹⁾、清水 博康^{1,2)}、赤澤 悠¹⁾、Jimmy Charneau¹⁾、澤田 雄²⁾、遠藤 格²⁾、中面 哲也¹⁾
¹⁾国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野、
²⁾横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学

◆：若手研究奨励賞応募演題

O12-2 Intratumoral expression of PD-L1, GZMA, and HLA-A with oligoclonal T cell expansion are the biomarkers for nivolumab

○福島 聡¹⁾、井上 博之²⁾、Jae-Hyun Park²⁾、清谷 一馬²⁾、宮下 梓¹⁾、
神人 正寿¹⁾、木庭 幸子³⁾、奥山 隆平³⁾、田中 亮多⁴⁾、藤澤 康弘⁴⁾、加藤 裕史⁵⁾、
森田 明理⁵⁾、浅井 純⁶⁾、加藤 則人⁶⁾、横田 憲二⁷⁾、秋山 真志⁷⁾、尹 浩信¹⁾、
中村 祐輔²⁾

¹⁾熊本大学大学院生命科学研究部 皮膚病態治療再建学分野、

²⁾Department of Medicine, The University of Chicago、

³⁾Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine、

⁴⁾Department of Dermatology, Faculty of Medicine, The University of Tsukuba、

⁵⁾Department of Geriatric and Environmental Dermatology, Nagoya City University, Graduate School of Medical Sciences、

⁶⁾Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Graduate School of Medical Science、⁷⁾Department of Dermatology, Nagoya University Graduate School of Medicine

O12-3 古典的 T 細胞サブセット CD4、CD8 (末梢血中) の変動はペプチドワクチン療法
法の優れた予後予測因子となりうる：進行卵巣がんでの解析

○和氣加容子、山田 亮

久留米大学先端癌治療研究センター がんワクチン分子部門

O12-4 腎癌における PD-L1 発現の抗体間の比較

○出嶋 卓、杉本 昌顕、武内 在雄、立神 勝則、江藤 正俊

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

O12-5 ドロップレットを用いた高効率シングルセル TCR ペア遺伝子同定法の開発

○松谷 隆治¹⁾、北浦 一孝¹⁾、山下 弘¹⁾、綾部 仁美¹⁾、森田 雄一¹⁾、佐藤 寛之¹⁾、
新井 理^{2,3)}、鈴木 隆二^{1,3)}

¹⁾Repertoire Genesis株式会社 研究推進部、²⁾ピッツ株式会社、

³⁾独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センター

一般演題 O13 がん免疫療法 (抗体・細胞・遺伝子治療その他) 3

6月30日 (金) 13:25~14:13

第2会場

座長：廣橋 良彦 (札幌医科大学医学部 病理学第一講座)

O13-1◆ 造血器腫瘍に対する HSV-1 ウイルス療法の開発

○石野 亮^{1,2)}、川瀬 有美¹⁾、北脇 年雄¹⁾、杉本 直志³⁾、稲生 靖¹⁾、藤堂 具紀⁴⁾、
高折 晃史¹⁾、門脇 則光²⁾

¹⁾京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、²⁾香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学、

³⁾京都大学 iPS細胞研究所、⁴⁾東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野

O13-2 ヒト尿路上皮癌の遺伝学的サブタイプを反映したマウス膀胱癌モデルの樹立とア
ログラフトの免疫学的解析

○齊藤 亮一¹⁾、Christof Smith²⁾、Jordan Kardos²⁾、Lisa Bixby²⁾、Jeffrey Damrauer²⁾、
内海 孝信²⁾、Sara Wobker²⁾、Shengjie Chai²⁾、Bhavani Krishnan²⁾、松本 敬優¹⁾、
小林 恭¹⁾、井上 貴博¹⁾、小川 修¹⁾、Benjamin Vincent²⁾、William Kim²⁾

¹⁾京都大学医学部泌尿器科、²⁾ノースカロライナ大学

- 013-3◆ STING リガンド搭載ナノ DDS を基盤としたがん免疫療法
○中村 孝司¹⁾、高橋 直道¹⁾、宮部 寛子¹⁾、佐藤 悠介¹⁾、兵藤 守²⁾、早川 芳宏²⁾、原島 秀吉¹⁾
¹⁾北海道大学大学院薬学研究、²⁾愛知工業大学工学部応用化学科
- 013-4◆ A2/NY-ESO-1 特異的改変抗体を応用した多発性骨髄腫に対する新規免疫療法の開発
○丸田 雅樹、越智 俊元、谷本 一史、東 太地、藤原 弘、安川 正貴
愛媛大学医学部医学系研究科 血液免疫感染症内科学
- 013-5 乳がん浸潤リンパ球の迅速・簡便 TCR レポートリー解析
○浜名 洋¹⁾、長田 拓哉²⁾、下岡 清美¹⁾、祐川 健太^{1,2)}、小澤 龍彦¹⁾、村口 篤¹⁾、岸 裕幸¹⁾
¹⁾富山大学大学院 医学薬学研究部 (医学) 免疫学、²⁾富山大学附属病院 第二外科
- 013-6 肺がんに対する個別化腫瘍浸潤リンパ球療法の開発を目指した基礎検討
○吉川 聡明¹⁾、野坂 和外¹⁾、鈴木 利宙¹⁾、齊藤 桂吾¹⁾、下村真菜美¹⁾、水野 正一¹⁾、鈴木 穰²⁾、関 真秀²⁾、坂本 裕美³⁾、吉田 輝彦⁴⁾、青景 圭樹⁵⁾、坪井 正博⁵⁾、中面 哲也¹⁾
¹⁾国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野、
²⁾東京大学メディカル情報生命専攻 情報生命科学講座、
³⁾国立がん研究センター研究所 臨床ゲノム解析部門、
⁴⁾国立がん研究センター研究所 基盤的臨床開発研究コアセンター、
⁵⁾国立がん研究センター東病院 呼吸器外科

一般演題 O14 抗原提示細胞

6月30日(金) 14:13~14:45

第2会場

座長：千住 覚(熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野)

- 014-1 尾静脈投与ワクチンによる腫瘍局所マクロファージへの抗原送達が増進する環境に及ぼす影響の解析
○村岡 大輔^{1,2)}、原田 直純²⁾、林 妙²⁾、秋吉 一成³⁾、珠玖 洋²⁾
¹⁾静岡県立大学大学院薬学研究院 創薬探索センター、
²⁾三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学、³⁾京都大学大学院工学研究科 生体機能高分子
- 014-2 がん細胞捕捉能を有する核酸修飾マクロファージの免疫応答
○杉本 駿介¹⁾、森 健²⁾、岩崎 泰彦^{3,4)}
¹⁾関西大学大学院 理工学研究科、²⁾九州大学大学院工学研究院 応用化学部門、
³⁾関西大学 化学生命工学部、⁴⁾関西大学ORDIST
- 014-3◆ 腫瘍血管内皮細胞を介した腫瘍の免疫逃避機構の解明
○田口 和浩^{1,2)}、尾上 隆司^{1,2)}、芳田 智明¹⁾、中島 一記²⁾、田中 友加²⁾、大段 秀樹²⁾
¹⁾国立病院機構国立呉医療センター/中国がんセンター 臨床研究部、
²⁾広島大学大学院医歯薬保健学研究院 消化器・移植外科学

◆：若手研究奨励賞応募演題

O14-4◆ PD-L1 阻害療法抵抗性の癌モデルにおける低濃度 TLR7 アゴニスト投与効果の検討

○西井 直人^{1,2)}、立浪 秀剛¹⁾、近藤 雄太¹⁾、原田 浩之²⁾、東 みゆき¹⁾

¹⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子免疫学分野、

²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎口腔外科学分野

一般演題 O15 免疫逃避機構 2

6月30日(金) 14:45~15:17

第2会場

座長：山田 亮(久留米大学 先端癌治療研究センター がんワクチン分子部門)

O15-1 免疫抑制因子としての IL-6 シグナルを標的とした抗腫瘍免疫応答予測と、IL-6/PD-L1 阻害併用療法の有効性の検討

○塚本 博丈¹⁾、藤枝 浩司²⁾、福島 聡³⁾、池田 徳典⁴⁾、宮下 梓^{3,4)}、久保 陽介³⁾、千住 覚²⁾、尹 浩信³⁾、押海 裕之¹⁾、西村 泰治^{2,5)}

¹⁾熊本大学生命科学研究部 免疫学分野、²⁾熊本大学生命科学研究部 免疫識別学分野、

³⁾熊本大学生命科学研究部 皮膚病態治療再建学、⁴⁾熊本大学医学部附属病院 総合臨床研究部、

⁵⁾熊本大学生命資源研究・支援センター 西村プロジェクト研究室

O15-2 神経ペプチド受容体を介した腫瘍形成メカニズムの解明と新規がん治療法への応用

○北村 秀光¹⁾、項 慧慧¹⁾、豊島雄二郎^{1,2)}、木井 修平^{1,2)}、橋本 真一³⁾、池尾 一穂⁴⁾、小林 博也⁵⁾、本間 重紀²⁾、川村 秀樹²⁾、高橋 典彦²⁾、武富 紹信²⁾

¹⁾北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫機能学分野、²⁾北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学分野I、

³⁾金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 未病長寿医学講座、⁴⁾国立遺伝学研究所 遺伝情報分析研究室、

⁵⁾旭川医科大学医学部病理学講座 免疫病理分野

O15-3 腫瘍抑制因子 Menin は mTORC1 シグナルの調節を介して腫瘍免疫を制御する

○鈴木 淳平^{1,2,4)}、桑原 誠^{2,4)}、山田 武司³⁾、松本 哲³⁾、安川 正貴^{1,4)}、山下 政克^{2,4)}

¹⁾愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学、²⁾愛媛大学大学院医学系研究科 免疫学、

³⁾愛媛大学大学院医学系研究科 感染防御学、⁴⁾愛媛大学医学部附属病院 先端医療創生センター

O15-4 Pros and cons of cyclophosphamide in anti-CTLA-4 antibody-treated different tumor mouse models

○飯田 雄一¹⁾、原嶋奈々江^{1,2)}、元島 崇信³⁾、菰原 義弘⁴⁾、江藤 正俊⁵⁾、原田 守¹⁾

¹⁾島根大学医学部 免疫学、²⁾琉球大学医学部 生体代謝、³⁾熊本大学医学部 泌尿器科、

⁴⁾熊本大学医学部 病理、⁵⁾九州大学医学部 泌尿器科

一般演題 O16 その他

6月30日(金) 15:17~15:49

第2会場

座長：國井 直樹（千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学）

- O16-1 Tumor infiltrating lymphocytes mediated pleuritis followed by nivolumab treatment against advanced renal cell carcinoma
○武内 在雄¹⁾、柳原 豊史¹⁾、立神 勝則¹⁾、岡本 勇²⁾、中西 洋一²⁾、江藤 正俊¹⁾
¹⁾九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野、²⁾九州大学大学院医学研究院 胸部疾患研究施設
- O16-2 Nivolumab による大腸炎を発症した患者における免疫学的解析
○宮下 梓¹⁾、福島 聡¹⁾、塚本 博丈²⁾、板井 久恵¹⁾、藤枝 浩司³⁾、西村 泰治⁴⁾、宮本 英明⁵⁾、尹 浩信¹⁾
¹⁾熊本大学大学院生命科学研究部 皮膚病態治療再建学分野、
²⁾熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学分野、³⁾熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野、
⁴⁾熊本大学生命資源研究・支援センター 西村プロジェクト研究室、
⁵⁾熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学
- O16-3 急速な腫瘍の顕在化と進行に T 細胞共刺激阻害薬アバタセプトの関与が推察された肝細胞癌の 1 例
○高橋 健¹⁾、上田 佳秀¹⁾、恵荘 裕嗣¹⁾、李 宗南¹⁾、盛田 真弘¹⁾、児玉 裕三¹⁾、丸澤 宏之¹⁾、三森 経世²⁾、妹尾 浩¹⁾
¹⁾京都大学 消化器内科、²⁾京都大学 免疫・膠原病内科
- O16-4◆ IL-34 promotes osteoclast formation and enhances bone disease in multiple myeloma
○Muhammad Baghdadi、石川 浩三、和田はるか、清野研一郎
北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野